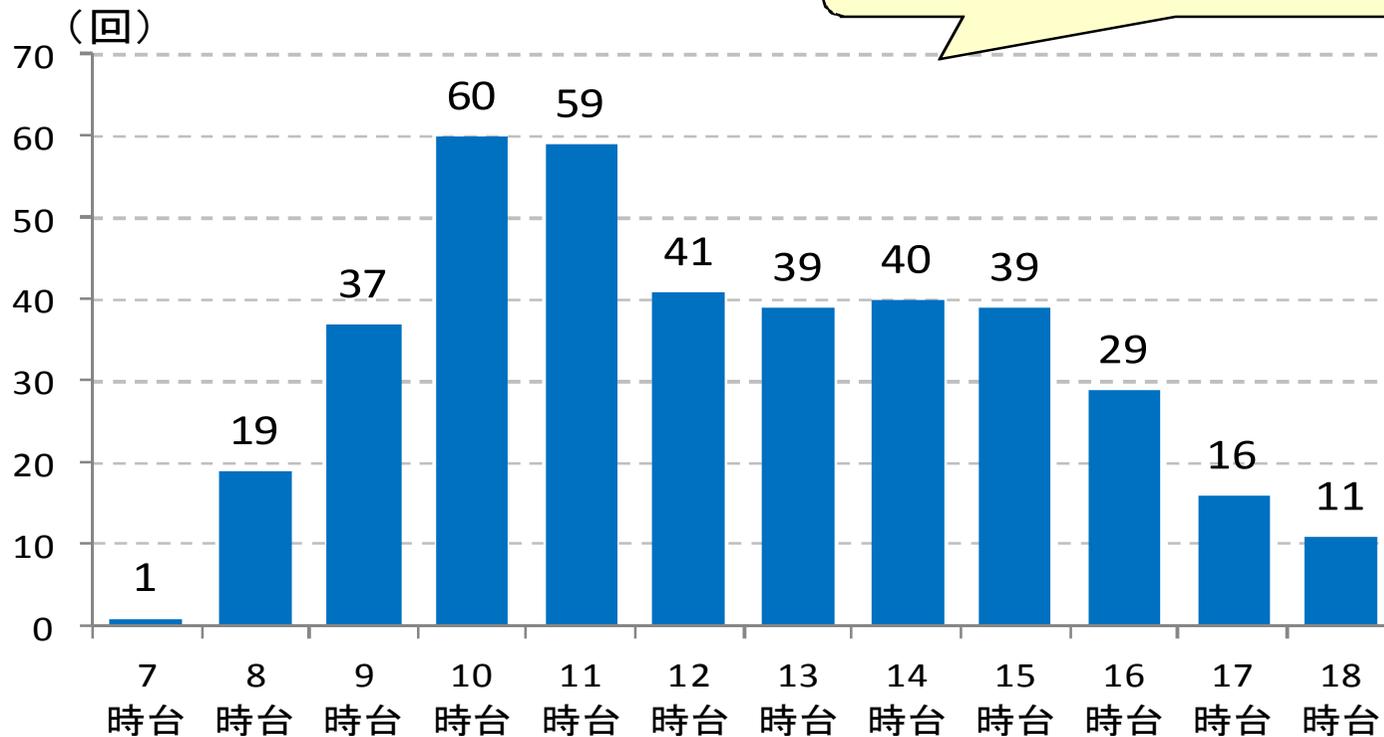


○利用時間帯分布

利用時間帯は午前10時台・11時台が多いものの、午後の時間も満遍なく利用あり



※稼働時間に含まれる時間帯を累積, 時間が不明の9回は除く

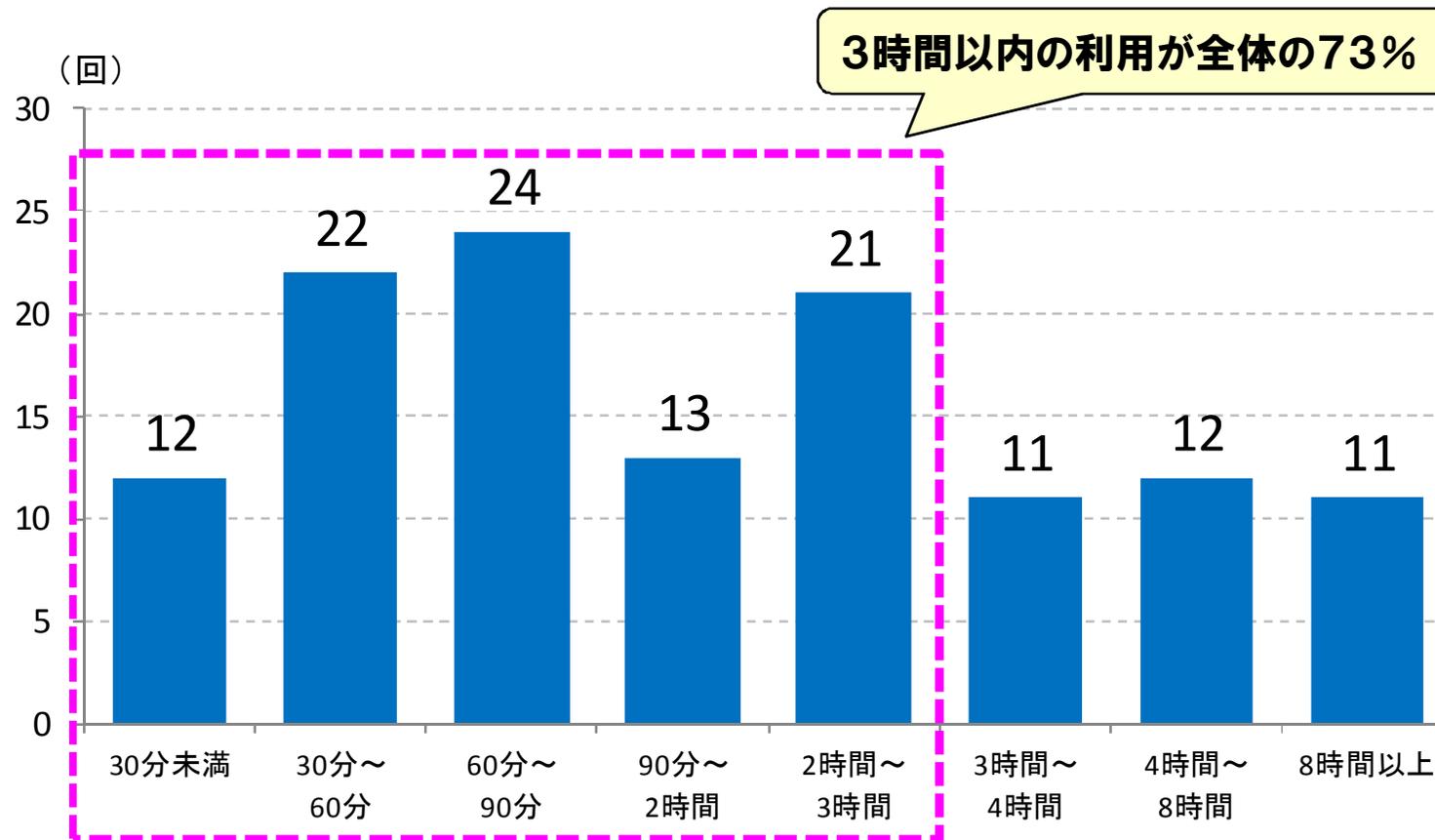
平日、休日利用の偏りもなく、それぞれ一定の利用あり

○利用曜日

- 平日利用 : 103回 (68%)
- 土日祝利用 : 48回 (32%)

※利用日が不明の4回は除く

○利用 1 回あたりの所要時間分布



※出発・到着時間が不明の46回は除く

○モニターの行動事例

＜若葉台：子供と一緒に買物等で利用した例＞



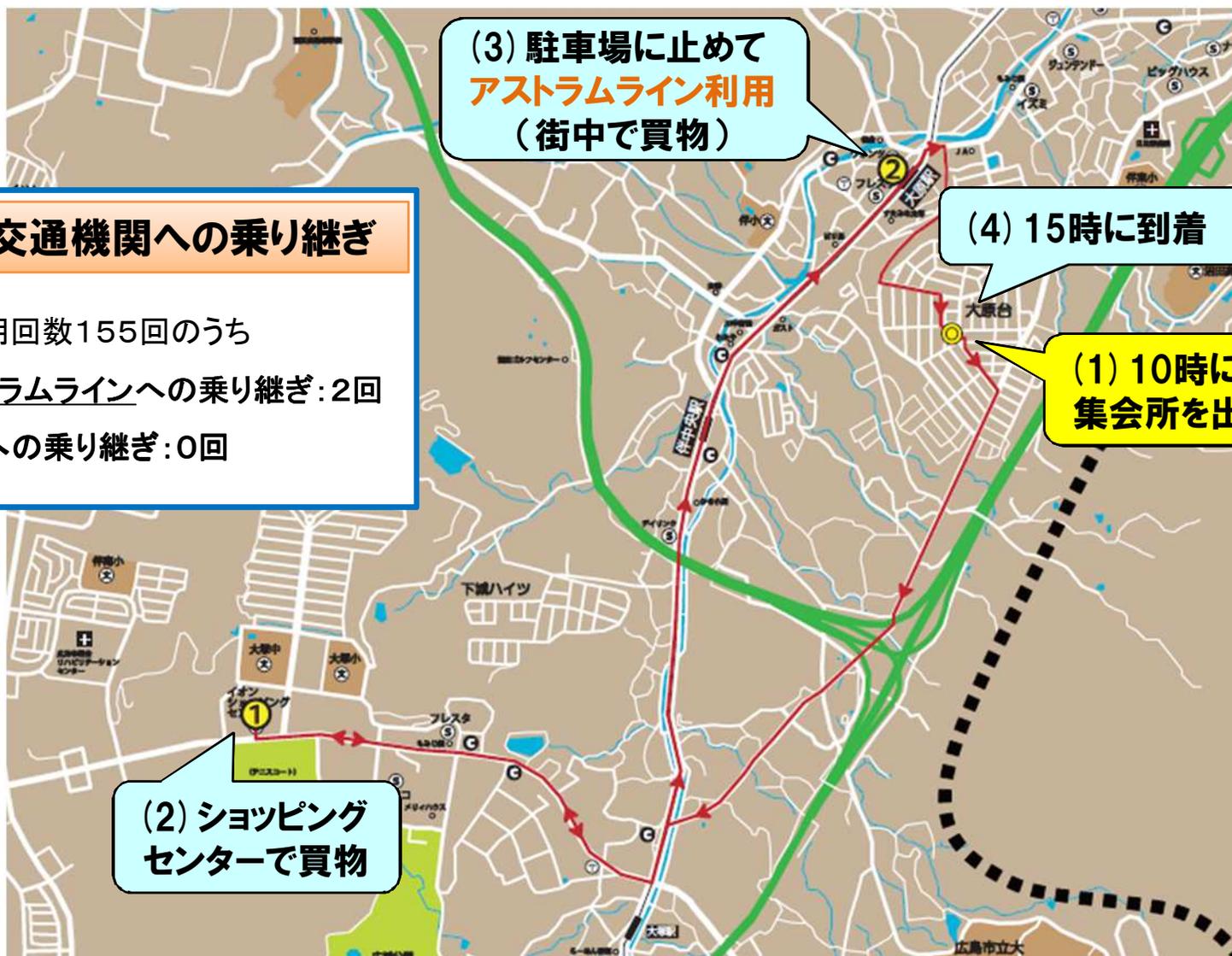
＜伴東地区：1人で買物等に利用した例＞



<下城ハイツ：1人で買物に利用した例>



<アストラムラインへ乗り継いだ例>



公共交通機関への乗り継ぎ

※全利用回数155回のうち

○アストラムラインへの乗り継ぎ: 2回

○バスへの乗り継ぎ: 0回

(3) 駐車場に止めて
アストラムライン利用
(街中で買物)

(4) 15時に到着

(1) 10時に
集会所を出発

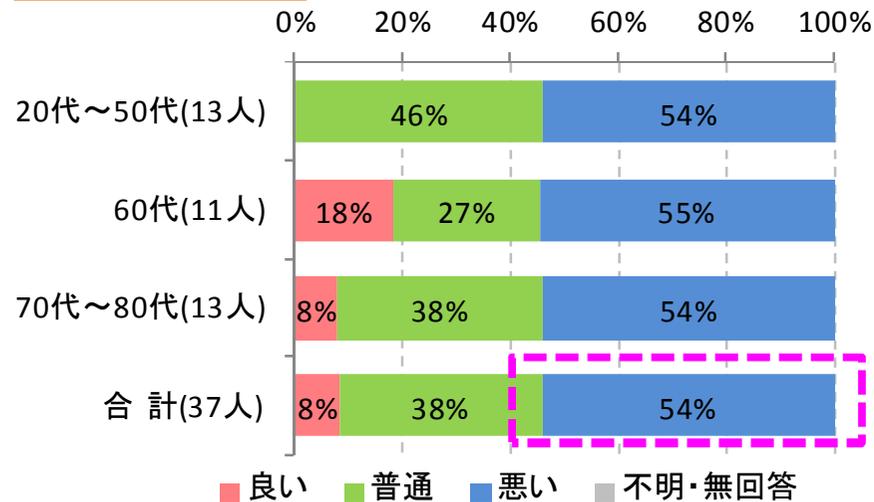
(2) ショッピング
センターで買物

☞「操作性」、「のぼり坂の走行性」は年代を問わず概ね高評価
 ☞「乗り心地」はすべての年代において悪いが半数

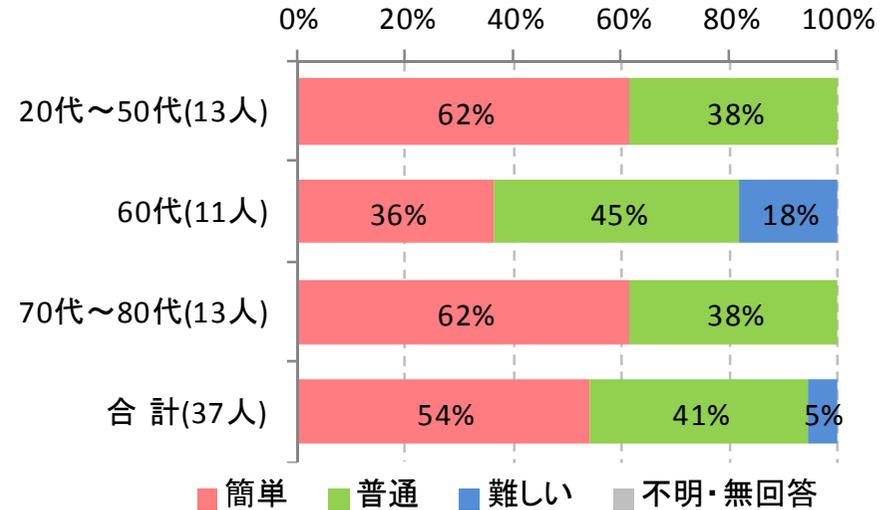
③ 走行後の評価

○ 走行や操作に関する評価（年齢別）

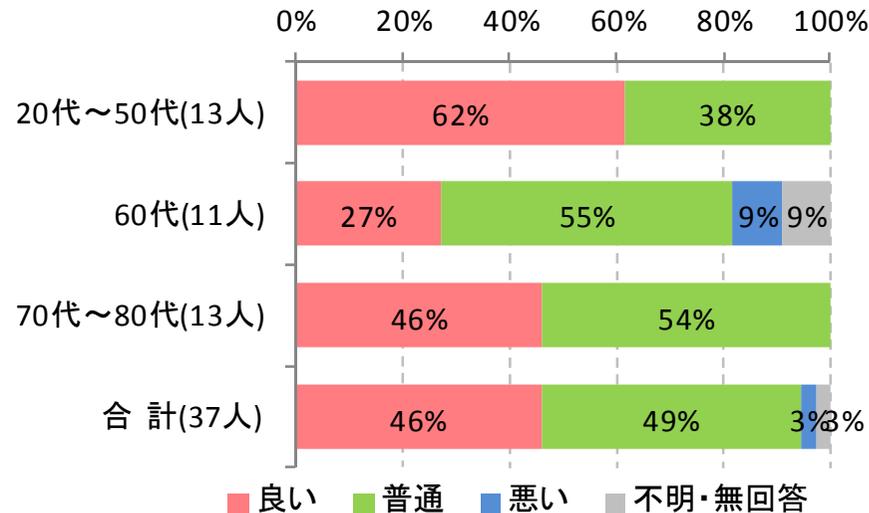
乗り心地



操作性



のぼり坂の走行性

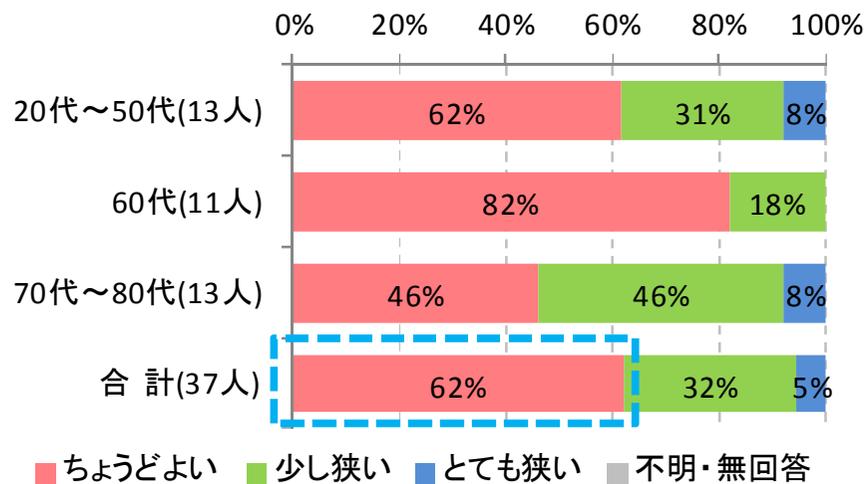


※()内はサンプル数

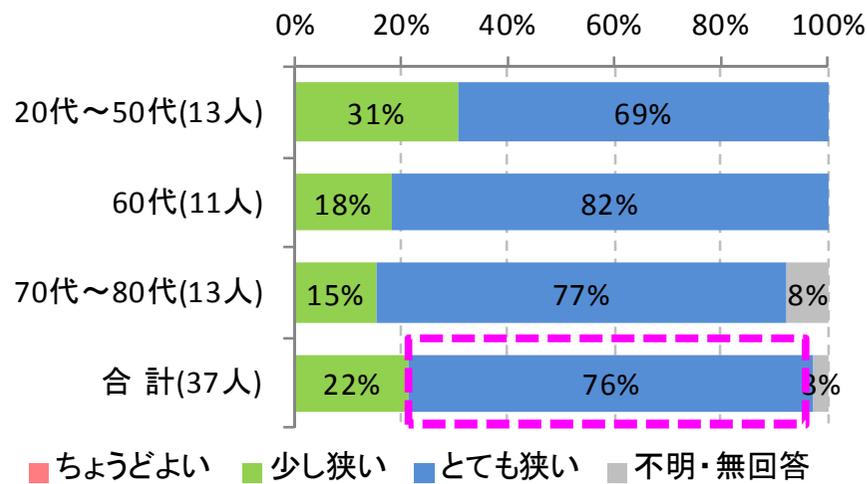
○車両に関する評価

「後席のスペース」、「窓がないこと」は、すべての年代において不満と感じた人が多い。

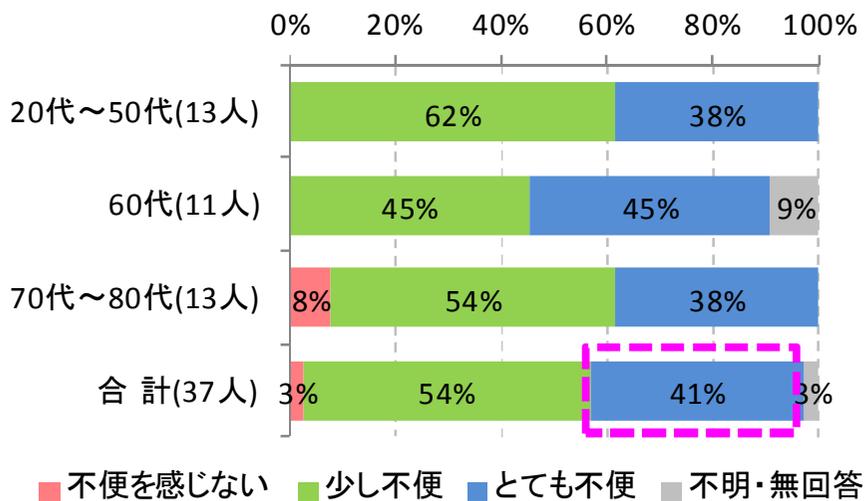
空間スペース(前席)



空間スペース(後席)



窓がないことについて

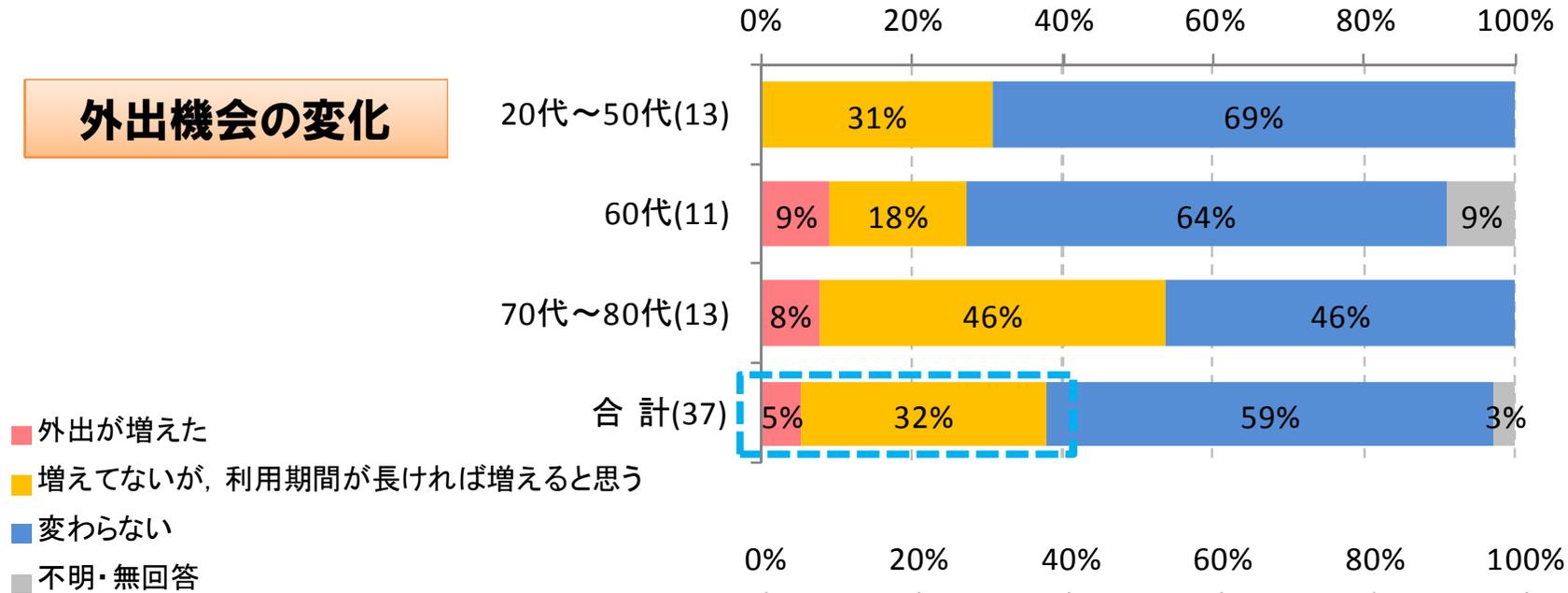


※()内はサンプル数

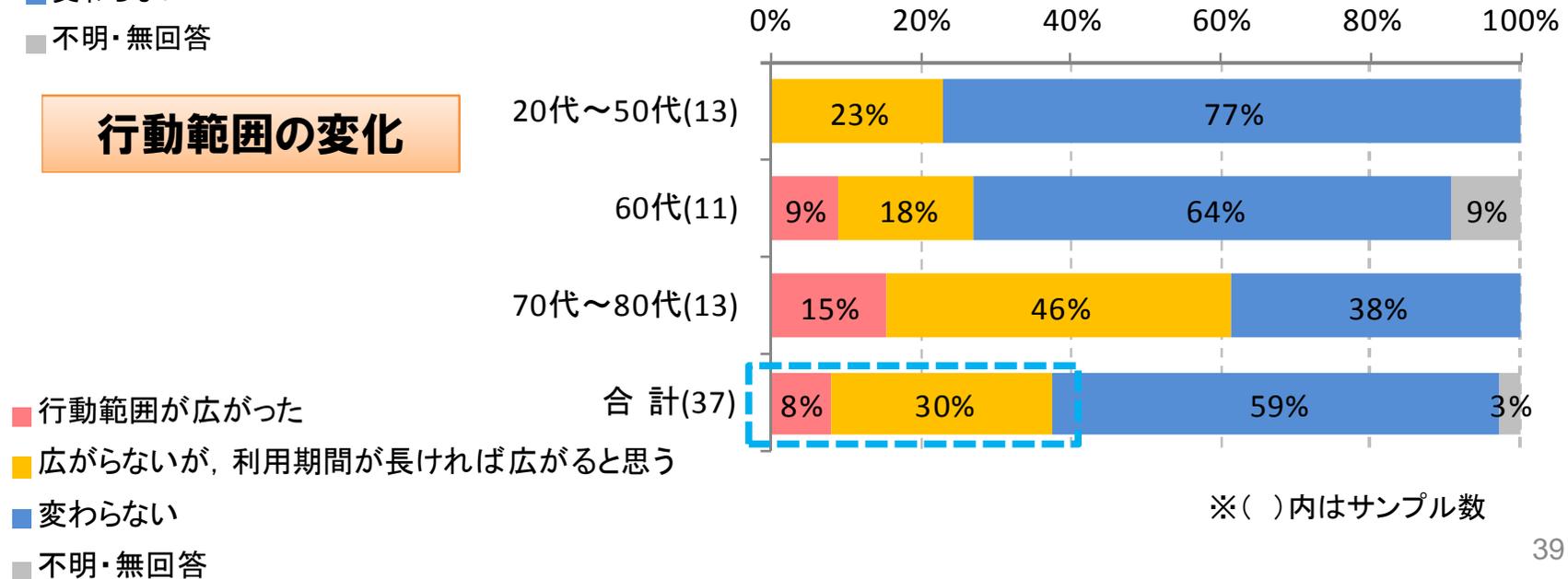
○行動内容の変化

「外出の機会が増えた(増えると思う)」、「行動範囲が広がった(広がると思う)」が全体の4割

外出機会の変化

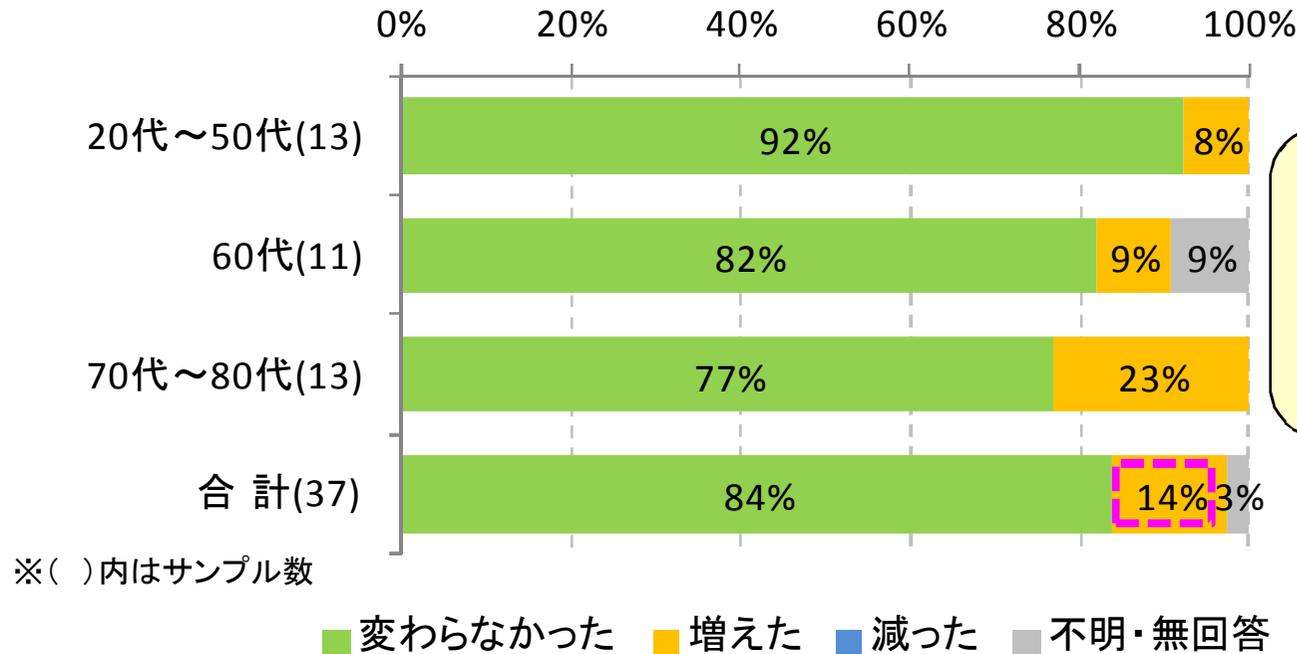


行動範囲の変化



※()内はサンプル数

○普通車と比べて ヒヤリ・ハット回数の変化



ヒヤリ・ハットが増えた人は14%。その大半が練度の向上で改善できる内容であった。

【“増えた”場合の内容】

- 大型車が接近してきた場合
- 信号待ち(特にのぼり坂)での坂道発進
- バックした際、後輪が見えない為、柱にタイヤがあたった
- バックで運転した後、前進に切り換えたつもりが切り換わっておらず、後に動いた

練度の向上で改善可能